

2020年度 農林水産省・文部科学省後援

日本 **農**業技術**検**定

検定試験日 **第1回** 7/11 **土** **第2回** 12/12 **土**

応募期間

第1回 5月1日(金)～6月5日(金)
第2回 10月1日(木)～11月5日(木)

受験級

第1回 3級・2級
第2回 3級・2級・1級



熊本県立熊本農業高等学校のみなさん

農業技術検定の資格で 将来の可能性を広げよう! 進学や就職に向けて学習の成果を発揮しよう!

日本農業技術検定は、農業の知識や技術の修得水準を評価して、教育研修の効果を高めることを目的とした、全国統一の農業専門の試験制度です。就農、農業系大学への進学、農業法人・関連企業への就業をめざす学生や社会人など、すでに延べ27万人が受検しています。

高校で学び身に着けた農業の実践的知識の成果として、農業技術検定の資格取得に取り組みましょう。進学や就職に向けたキャリアアップにつながり、将来の可能性を大きく広げることになります。

実施主体

日本農業技術検定協会
(事務局：一般社団法人全国農業会議所)

TEL：03-6910-1126 FAX：03-3265-5140
e-mail：kentei@nca.or.jp

ホームページ ▶ <https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>

日本農業技術検定協会構成団体

(一社)全国農業協同組合中央会／全国町村会／全国農業高等学校長協会／全国農業大学校協議会／全国農学系学部長会議／全国大学附属農場協議会／(公社)日本農業法人協会／(一社)全国農業改良普及支援協会／(公財)農民教育協会／(公社)国際農業者交流協会／(一社)日本農業機械化協会／(一社)全国農協観光協会／(一社)農山漁村文化協会／(一社)全国農業会議所(事務局)の14団体によって構成されています。

日本農業技術検定概要

第1回

2020年7月11日(土)

3級 10:00~10:40 (40分)

2級 11:10~12:10 (60分)

応募期間

第1回 5月1日(金)~ 6月5日(金)

第2回 10月1日(木)~11月5日(木)

試験会場

一般受験は東京・大阪等各地の指定会場

団体受験は試験実施団体の準備・提供した会場

※2019年度優秀表彰団体(農業高等学校の部)

[3級]最優秀団体:静岡県立藤枝北高等学校、優秀団体:北海道倶知安農業高等学校、東京都立園芸高等学校、静岡県立静岡農業高等学校、愛知県立安城農林高等学校

[2級]最優秀団体:岐阜県立岐阜農林高等学校、優秀団体:北海道岩見沢農業高等学校、北海道帯広農業高等学校、東京都立園芸高等学校、静岡県立磐田農業高等学校、静岡県立静岡農業高等学校、愛知県立半田農業高等学校、愛知県立安城農林高等学校、愛知県立渥美農業高等学校、大分県立三重総合高等学校、宮崎県立高鍋農業高等学校

※酪農学園大学、拓殖大学北海道短期大学、秋田県立大学、茨城大学、千葉大学、玉川大学、東京農業大学(神奈川、北海道)、日本大学、岐阜大学、名城大学、信州大学、京都府立大学、鳥取大学、島根大学、県立広島大学、佐賀大学、東海大学(熊本)、南九州大学、宮崎大学、琉球大学、新潟食料農業大学では大学生の団体受験が進められています。多くの大学では学生が元々農業経験もないため大学での農学習得の補強手段として活用されているほか、日本大学生物資源科学部では農場実習の中で本検定受験に取り組んでいます。

※JA新はこだて、JAみやぎ登米、JA佐波伊勢崎、JA石川県中央会、JA佐渡、JAひすい、JAみな穂、JA福井県中央会、JAかながわ西湘、JAセレサ川崎、JA東京中央、JAマイズ、JAしみず、JA御殿場、JAハイナン、JAなんすん、JA伊豆の国、JA長野中央会、JA上伊那、JA塩尻市、JA木曾、JA中野市、JAあづみ、JA信州諏訪、JA佐久浅間、JA信州うた、JAみなみ信州、JAあいち豊田、JAぎふ、JA東びわこ、JAこうか、JA西びわこ、JAグリーン近江、JA栗東市、JA丹波ひかみ、JA兵庫みらい、JA三原、JA大阪泉州、JAいずみの、JA香川県、JA高知市、JA福岡中央会、JAむなかた、JA粕屋、JA糸島、JA筑前あさくら、JAにじ、JAみい、JAくるめ、JAふくおか八女、JA柳川、JAみなみ筑後、JAたがわ、JA福岡京築、JAくま、JAおいた、JAおきなわでは営農指導力の向上やJA一般職員のキャリアアップを目的に団体受験が進められています。

県連グループの取り組みとしてJA営農指導員上級資格の要件の一つとして、一般JA職員は全員3級資格を取得するという取り組みを進めるところも出てきました。

※本検定の上位資格は一定の農業に関する実務的知識を習得していることの証明になります。

第2回

2020年12月12日(土)

3級 10:00~10:40 (40分)

2級 11:10~12:10 (60分)

1級 13:00~14:30 (90分)

受験料

	一般受験	団体受験	団体受験 (学生割引)
3級	3,140円	2,620円	1,570円
2級	4,190円	3,350円	1,670円
1級	5,240円	4,190円	2,620円

試験方法

[3級] 学科試験のみ

[2級] 学科試験+実技試験

[1級] 学科試験+実技試験

※1、2級も学科試験のみの受験が可能です。学科に合格した場合は、「学科試験合格証明書」を発行します。なお、1級・2級実技試験は、免除措置があります。詳しくはホームページをご覧ください。

3級 試験科目	農作業の意味がわかる入門レベル	■ 農業基礎として共通30問 ■ 「栽培系」「畜産系」「食品系」「環境系」から1科目選択で20問。ただし、「環境系」については、環境共通10問と3専門分野(造園、農業土木、林業)別に各10問 ■ 四者択一のマークシート方式による計50問
	主な受験対象: 農業高校生	
2級 試験科目	農作物の栽培管理等が可能な基本レベル	■ 農業一般として共通10問 ■ 「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問 ■ 五者択一のマークシート方式による計50問
	主な受験対象: JA営農指導員・大学生	
1級 試験科目	農業の高度な知識・技術を修得している実践レベル	■ 農業一般として共通20問 ■ 「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問 ■ 五者択一のマークシート方式による計60問
	主な受験対象: JA営農指導員・大学生	

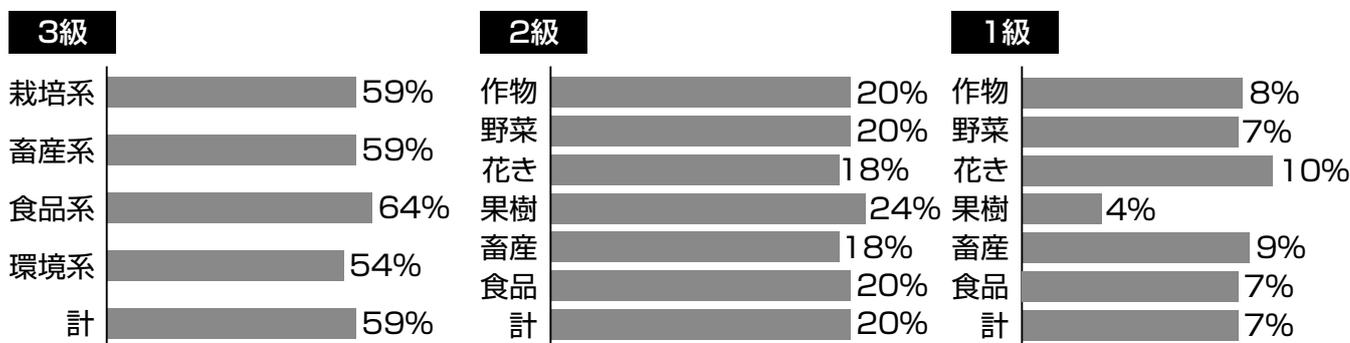
日本農業技術検定の受験実績

①全体受験実績(2014～2019年度)

(受験者数(人)
合格率(%))

	3級	2級	1級	合計
2014年度	18,411人(67%)	4,104人(23%)	258人(9%)	22,773人(59%)
2015年度	18,926人(68%)	4,949人(21%)	245人(10%)	24,120人(58%)
2016年度	20,183人(62%)	5,350人(19%)	308人(8%)	25,841人(53%)
2017年度	20,681人(56%)	5,743人(18%)	277人(6%)	26,701人(47%)
2018年度	20,521人(62%)	5,365人(20%)	247人(9%)	26,133人(53%)
2019年度	19,992人(59%)	5,311人(23%)	266人(7%)	25,569人(51%)

②科目別合格率(2017～2019年度)



③合格基準

【3級】100点満点の原則60%以上

【2級】100点満点の原則70%以上

【1級】120点満点の原則70%以上

実技試験

(2級、1級試験では学科のみの受験も可能です。学科試験合格者には学科試験合格証明書が交付されます。実技試験までご希望の方は以下をご参照ください)

①2級実技試験免除

2級実技試験(農業機械についてのほ場での実地検定)の希望者は11月に受験の機会があります。農業系の学校(農業高校、農業大学校、大学等)での農場実習、農業経験(JAの営農指導経験を含む)1年以上、2級実技試験免除規定に指定する農業用機械・食品加工の2機種(工程)以上を履修していれば免除が可能となります。

学校での2級団体受験の場合は、学校(団体)としての2級実技免除手続きをお薦めします(5年間有効)。具体的な手続きは本検定ホームページをご覧ください。

※免除申請がない場合の合格証は「学科試験合格証明書」になります。

②1級実技試験免除

1級実技試験(12月の1級学科試験と同日時に開催)は1級学科試験合格者の希望により受験が可能です。農業系の学校での、農場実習等4単位取得者又は2年以上営農実務経験を有する方は免除が可能となります。詳細は本検定ホームページをご覧ください。

申込方法

お申し込みは <https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>
 ホームページから ※インターネット環境がない方のために、FAX・郵送でも受付可。

①一般受験

個人がインターネットで申込み場合は、申込方法の「一般受験」画面から申し込む。

「農の雇用」事業研修生は、都道府県農業会議が受験者をまとめてインターネットで申し込む。

※一般受験も団体受験も受験料の振込先口座番号は受験者別になっており、毎回変わります。また、応募期間内に受験料をお振込みください。

②団体受験

学校・JA・農業法人などの実施団体がインターネットで申込み場合は、申込方法の「団体受験」画面から申し込む。

テキスト・参考書 (購入方法などの詳細は検定ホームページをご覧ください)

2020年度版
日本農業技術検定
過去問題集
好評販売中!

3級

- (1) 2020年度版過去問題集3級 (発行)全国農業会議所
※2017年度、2018年度、2019年度試験問題6回分を収録
- (2) 日本農業技術検定3級テキスト (発行)全国農業高等学校長協会
- (3) 文部科学省検定教科書 高等学校農業用 (発行)教科書出版社

2級

- (1) 2020年度版過去問題集2級 (発行)全国農業会議所
※2019年度試験問題2回分を収録
- (2) 日本農業技術検定2級テキスト (発行)全国農業高等学校長協会
- (3) 文部科学省検定教科書 高等学校農業用 (発行)教科書出版社

1級

- (1) 1級学科試験問題…日本農業技術検定協会(全国農業会議所)
※2017、2018、2019年度試験問題、年度毎に実費販売
- (2) 日本農業技術検定1級…参考図書例 農業関係出版社

※1級試験問題は過去問題の出版物はありません。ホームページをご覧の上、日本農業技術検定協会事務局宛(kentei@nca.or.jp)にメールにてご連絡ください。実費でコピーして送付いたします。

※テキスト・参考書については、それぞれの発行元にお問い合わせください。 全国農業高等学校長協会 TEL.03-5357-1666

高校での団体受験の取組み紹介

生徒全員が3級を受検、意欲をもって農業知識を深め進学・就職に活かす | 熊本県立熊本農業高等学校

熊本農業高校は1941年(明治32年)に創設され、121年の伝統を誇り、農業科をはじめ7学科21クラス、生徒総数860人の全国でも有数の単独の農業高校です。

本校では、各学科の取得可能資格として日本農業技術検定を掲げています。1年次に「農業と環境」を学び、2年次の農業技術検定学習で農業の基礎知識の定着を図ります。選択科目は、各学科の特性を活かした教科の中で専門知識を深め、生徒もやりがいを持って検定の学習に臨んでいます。

農業学習を積んだ2年生の約200人が3級を受検します。3年次

には2級受検に挑戦する生徒も多く、農業知識を深めることで大学進学や農業関連企業への就職に結びつけています。農業系大学では推薦入試等で農業技術検定の資格取得が参考にされ、授業料減免などのメリットもあります。また、農業技術検定の資格を取得することで、本校のアグリマイスター上級取得者も増加しています。

2年次の12月を「全員受検」に位置付けていますが、今後は1年次から受検するように各学科で連携するとともに、さらに上級取得のチャンスとそれを目指す生徒が増えるように学校全体で取り組んでいきます。

協賛企業・団体の募集を始めました

日本農業技術検定への協賛企業・団体の参加状況(私達も応援しております)

日本農業技術検定は、農業教育に関連する全国14団体による日本農業技術検定協会を組織して実施していますが、この度本検定の取り組みの必要性にご理解をいただける企業・団体を募集したところ、以下の企業・団体のご参加がありましたのでご紹介いたします(2020年4月1日現在)。今後、参加をご希望される企業・団体はホームページをご覧ください。



日本農業技術検定に関するお問い合わせ

日本農業技術検定協会 (事務局：一般社団法人 全国農業会議所)

〒102-0084 東京都千代田区二番町5-6 あいおいニッセイ同和損保 二番町ビル7階
TEL:03-6910-1126 FAX:03-3265-5140 e-mail:kentei@nca.or.jp